

# (株)上信観光バス 令和3年度 運輸安全マネジメントの取組み

令和 3年 4月

上信観光バスでは、お客様に「安全・安心・快適」にバスのご利用をいただくには、「すべてにおいて安全が最優先になる」との考えのもと、社長をはじめ経営幹部から乗務員・現場までが一丸となり、それぞれの持ち場において、法令順守を徹底するとともに、さらなる安全性の向上に取り組んでまいります。

## 1. 輸送の安全に関する基本方針

- (1) 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど、現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全確保が最も重要であるという認識を徹底させる。
- (2) 輸送の安全に関する計画の「策定(Plan)・実行(Do)・チェック(Check)・改善(Act)」を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、絶えず安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。
- (3) 関係法令や規則を確実に遵守し、忠実に職務遂行をおこなう。

## 2. 令和2年度の事故に関する統計

令和2年度の事故発生件数

◎自動車事故報告規則第2条に規定する事故の件数

・死亡事故	0件
・重傷事故	0件
・運転者の疾病による運行の中断	0件
・車両装置の故障による運行の中断	0件

◎有責事故の件数

・車外人身	0件
・車内人身	0件
・物損(第1当事者)	1件
※物損事故のうち、相手が車両以外の事故	1件

### 3. 行政処分の公表

令和2年度 当社において行政処分はありません。

### 4. 令和2年度 輸送の安全に関する目標の達成状況

- (1) 重大事故の発生0件を継続
  - 達成できております。重要項目につき、今年度も継続項目といたします。
- (2) 第一当事者による事故発生件数を前年度以下にする（※参考 令和元年度 16件）
  - 年間を通して達成できております。令和2年度の第一当事者による事故発生件数は1件でした。令和3年度も交通安全と事故防止に努めてまいります。
- (3) デジタコの安全評価平均点98点以上を目指す
  - 年間を通して達成できております。令和2年度はデジタコの安全評価平均点は99.5点となりました。令和3年度も高得点が取れるよう従業員全員で努力してまいります。
- (4) 社内無事故表彰者を前年度以上にする（※参考 令和元年度受賞者 36名）
  - 達成できております。令和2年度の無事故者は42名となりました。  
今後も乗務員の励みとし、多くの受賞者を出せるよう努力してまいります。

令和2年度においても、年度初めに掲げた「輸送の安全に関する目標」の全項目を達成することができました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、貸切バスの運行回数が激減した年となりました。その中でも全項目が達成できたことは、経営トップをはじめとする全従業員が、お客様に「安全・安心・快適」に貸切バスをご利用いただくためには、「すべてにおいて安全が最優先になる」との考えのもと行動してきた結果と思っております。

令和3年度においては、現在も続く新型コロナウイルス感染症の脅威に負けず、安全目標の全項目達成ができるよう努力してまいります。

### 5. 令和3年度 輸送の安全に関する目標

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 重大事故の発生0件を継続</li><li>(2) 構内事故の発生0件を目指す</li><li>(3) 感染防止を徹底し新型コロナウイルス感染者0(ゼロ)の継続</li></ol> |
|---|

## 6. 旅客のシートベルト着用 100%を目指す取組み

平成 20 年 6 月 1 日施行の改正道路交通法をうけ、当社では旅客のシートベルト着用 100%を目指して、以下の取組みを行っております。

- (1) バス車内において、シートベルトの着用をお願いする案内の表示やしおりの用意
- (2) 出発前の挨拶時に、乗務員より口頭でのシートベルト着用案内の励行
- (3) 休憩場所および見学施設出発時に、再度口頭でのシートベルト着用案内の励行

## 7. 輸送の安全のために講じた措置 および 講じようとする措置

- 1. 四季の交通安全運動 および 輸送安全総点検実施時に、社長や安全統括管理者による各営業所の巡視をおこない、各営業所の管理者や乗務員との意見交換・情報交換を行いながら、安全意識の向上を図っております。
- 2. 年間無事故達成者 および デジタルタコグラフ評価の優秀者の表彰制度
- 3. 乗務員研修の実施
  - (1) 社員集合教育研修
    - ① 外部講師による事故防止に関する教育
    - ② 外部講師による自動車の構造や予防整備・日常点検の実施方法の指導など、自動車の構造や整備に関する教育
    - ③ 外部講師による健康管理の重要性と健康管理のポイントについての教育
    - ④ 経営トップと社員による意見交換・情報交換の実施
    - ⑤ 安全運転指導員による交通事故防止と飲酒運転防止のための留意点についての教育、およびドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット情報の共有や、危険の予測および回避についての教育
  - (2) 安全運転講習

(株)群馬安全教育センター(前橋自動車教習所)および水原自動車教習所において、危険予測と車両感覚の習得を目的とした運転技能チェックを実施するとともに、乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項(特に車内転倒事故防止について)や、乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項などの教育の実施
  - (3) 救命救急講習

安全運転研修実施時に、応急救護措置の必要性や、救命蘇生法の流れと、胸骨圧迫や人工呼吸による心肺蘇生法のやり方についての実技の講習 および AEDの構造や使用方法についての実技講習の実施

(4) 雪道(チェーン脱着)および大規模災害発生時等対応訓練

- ① 雪道走行時の対策と安全運行についての教育を実施するとともに、各自チェーン(主にダブルチェーン)着脱訓練の実施
- ② 交通事故発生を想定して、車両を利用した非常口脱出訓練や、高速道路走行時において車両故障や交通事故が発生した際に、二次災害を防止するための現場における車両誘導などの訓練の実施
- ③ 大規模災害や事故・事件が発生した際の乗務員の対応について、それぞれの対応マニュアルをもとに、対応手順の確認を実施

4. 乗務員の健康管理

全従業員を対象に、毎年度7月と2月に健康診断を実施して、各自の健康状態を把握するとともに、健康診断結果をもとにした健康管理についての指導を実施する。また、運転者に対して、SAS(睡眠時無呼吸症候群)の検査を行い、各自の症状や状態を把握することにより、健康起因による事故の発生を未然に防ぐよう努めています。

8. 令和3年度 研修・教育計画

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| (1) 損保ジャパン安全ドライバー診断     | (8) 救命救急講習      |
| (2) 安全運転講習              | (9) 車両整備関係      |
| (3) チェーン脱着訓練            | (10) 飲酒運転防止セミナー |
| (4) 運転者適性診断             | (11) 接遇マナー      |
| (5) 社員集合教育              | (12) 健康管理       |
| (6) ドライブレコーダーの記録を活用した研修 | など              |
| (7) 乗務員実務研修             |                 |

9. 輸送の安全に関する実績および予算

【令和2年度の実績金額 合計】 3, 570, 370円

※内訳

(1) 車 両	0円
(2) 設備管理	1, 312, 000円
(3) 教育関連	1, 033, 100円
(4) 健康管理	1, 225, 270円

【令和3年度の予算金額 合計】 7, 045, 000円

※内訳

(1) 車 両	0円
(2) 設備管理	4, 781, 000円
(3) 教育関連	1, 034, 000円
(4) 健康管理	1, 230, 000円

## 10. 輸送の安全に関わる内部監査の結果および措置

実施日 令和3年3月19日

監査に基づき講じた措置および講じようとする措置

- ① 今回の監査では、直ちに重大な問題となる事項はないと判断しました。
- ② コロナ禍において運行回数が激減しているが、ヒヤリハット情報の収集量が少なく感じた。少ない運行の中でも乗務員から情報収集を行いやすいよう工夫が必要と感じました。

⇒終業点呼時や、日勤業務時の朝礼時などに声掛けを行い、気軽に情報が寄せられる環境づくりをおこない、ヒヤリハット情報の収集に努める。

## 11. 安全統括管理者

常務取締役 飯出 瑞生

## 12. 安全管理規程

当社の安全管理規定は、ホームページへ掲載のとおりです。